

7/20 日経

論説

2023-7-20

「街の灯」消さぬ支援を

ガソリン高騰



全国のカンコン価格は十日連続で「一年ぶり」に再びたり百七十三円を記録した。カンコン、八通連続の値上りであり、百八十円を越えるとの見方も出ている。

カンコン価格の高騰は物価全体に与える影響が最大で、日々の暮らしにも大きな影響を及ぼしている。コンビニやスーパー、小売店、飲食店、ホテル、旅館、交通機関、観光業など、幅広い業界に波及している。消費者の購買力も低下し、経済全体の成長も鈍化している。政府は価格抑制に向けた具体的な政策を早急に取り組む必要がある。

政府はカンコン価格抑制すため、昨年一月から石油元売り会社に補助金を供給してこが、価格が一時的に低下したため、六月から支給額の段階的減額を始めた。九月には制度自体を廃止する意向も示している。

しかし、石油価格の暴落を誘った輸入価格の高止まりする中、補助金の減額がカンコン価格を極高騰に押し上げた。石油価格の高騰は、ガソリン価格の上昇を招き、消費者の購買力を低下させた。政府は、ガソリン価格の上昇を抑え、消費者の購買力を維持する必要がある。

ガソリン価格の上昇は、消費者の購買力を低下させ、経済全体の成長を鈍化している。政府は、ガソリン価格の上昇を抑え、消費者の購買力を維持する必要がある。また、石油価格の高騰は、ガソリン価格の上昇を招き、消費者の購買力を低下させた。政府は、ガソリン価格の上昇を抑え、消費者の購買力を維持する必要がある。

ガソリン価格の上昇は、消費者の購買力を低下させ、経済全体の成長を鈍化している。政府は、ガソリン価格の上昇を抑え、消費者の購買力を維持する必要がある。また、石油価格の高騰は、ガソリン価格の上昇を招き、消費者の購買力を低下させた。政府は、ガソリン価格の上昇を抑え、消費者の購買力を維持する必要がある。